

Istanbul Weekly^{vol.8-no.28}

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年11月1日（金）

— 今週のポイント —

政治：トルコ・ロシア間でソチ合意締結。
経済：中央銀行、政策金利を16.5%から14%に引き下げ。
 失業率、13.9%に上昇。
治安：共和国記念日を狙いイスタンブールでテロ計画。
社会：イスタンブールへの観光客数が過去5年で最高を記録。

政治

【内政】

●トルコ国鉄シルケジ駅・ハイダルパシャ駅の一部借地入札問題

(1)トルコ国鉄シルケジ駅・ハイダルパシャ駅の一部地区が、借地として「文化・芸術行事のために使用する目的」で入札にかけられた。入札に参加したイスタンブール市関連会社が「入札条件に合致しない」ことを理由に排除され、入札をエルドアン大統領の次男ビラル・エルドアン氏が設立者として知られるトルコ・アーチェリー協会会長のヒュセイン・アヴニ・オネル氏のヘザルフェン社が獲得した。イマムオール・イスタンブール市長は10月18日、記者に対し「本日、イスタンブール市関係者が一人も呼ばれない中、会議が開かれ、本件入札にイスタンブール市が参加できない旨の決定が取られた。・・・15日前に入札委員会はイスタンブール市が入札に参加することに問題はないとしていた。」と発言した。入札にはイスタンブール市関連会社のメディア株式会社、文化株式会社、ITスマートシティテクノロジー社(ISBAK)株式会社、メトロ株式会社が4社合弁で月10万トルコリラ、ヘザルフェン社が月30万トルコリラの価格を提示した。なお、20日にイスタンブール市の弁護士が行政裁判所に入札の無効を訴えた。(10月19日付けC紙5面及び21日付けT24)

(2)10月21日、トウルハン運輸インフラ大臣が、イスタンブール市が入札をいわずに混乱させており、「自治体関連企業の3倍の価格をつけた企業が入札を獲得するのは当然ではないのか？」と発言し、市が行っていることは「いじめ」だと述べた。(10月22日付けC紙5面)

●司法改革パッケージ法承認後に記者5名が釈放

新たに発効した新司法改革パッケージ法で、5年未満の懲役刑が課された者に不服申し立ての権利が与えられたことにより、過去に逮捕・拘留されていた新聞記者5名が10月25日に釈放された。釈放された記者はイエニ・ヤシャム紙ヒュセイン・アクヨル記者、ジュムフリイェット紙裁判で懲役刑を受けた最後の一人であるエムレ・イベル記者、メルテム・オクタイ記者、ウウル・アクギュル記者、イドリス・ユルマズ記者の5名。(10月26日付けビルギン紙インターネット版)

●ボスフォラス海峡の権限をイスタンブール市から大統領府に移管検討

環境都市省が作成中の28条項の法案で、イスタンブール市及び市内の4区が所有するボスフォラス海峡と海峡関連の権限を終了させることを検討している。同法案によると、ボスフォラス海峡省と2つの組織が新設され、これら組織への任命権は大統領に与えられる。同法により、ボスフォラス海峡の開発が進むと見込まれており、CHPからは、既に選出されたイスタンブール市長及び市議会の権限を取り上げることになり、また環境面でもボスフォラス海峡がコンクリートで固められると批判が出ている。(10月31日付けC紙5面)

●トルコサッカー代表チームの敬礼が問題に

平和の泉作戦の開始により、トルコで政治的意向の表明として、敬礼ポーズを取って写真撮影を行うことが広まっており、トルコサッカー代表チームが10月11日及び14日の2020ヨーロッパチャンピオンリーグの試合で敬礼ポーズを取ったことが問題となっている。欧州サッカー連盟(UEFA)が罰金・警告など何らかの罰則を代表チームに下す可能性があることから、トルコサッカー連盟は同連盟と10月以降協議を続けている。トルコは、敬礼ポーズは伝統の範疇であること、またトルコ以外の国でもゴールの後に敬礼ポーズを取っていることなどを主張している。(11月1日付けC紙インターネット版)



(写真は、11月1日付けC紙インターネット版から)

【外交】

●エルドアン大統領、トランプ米大統領の電話会談

10月18日、エルドアン大統領とトランプ米大統領が電話会談を行い、根底の強い基盤に基づくトルコ米関係強化のために相互の歩み寄りに満足していることを双方で確認した。

●トルコ・米国間のシリアにおける合意締結

(1)10月18日、エルドアン大統領はドルマバフチェ宮殿で会見を行い、米国との合意の内容について、「120時間以内にテロリストは武装解除され、拠点は破壊され、30kmの地帯から撤退させられる。それまでトルコ軍は同地帯から撤退しない。安全地帯がトルコ軍の管理下となったなら平和の泉作戦は終了する。米国との協議によればこの過程の完了に伴い、トルコに対する対抗措置は撤回される。米国が120時間以内に約束を守れば安全地帯の問題は解決となるが、守られなければ120時間が終了した時間に平和の泉作戦をより確実に再開する。」と発言した。

(2)グラハム上院議員とヴァンホーレン上院議員の署名により準備されたトルコ報復を含む草案は議会で審議されており、トルコ米関係間の協議では、トランプ大統領の拒否権を超える形で承認された場合にはどのような対策が取られるのかについて協議されなかったという。(19日付けC紙9面)。

●トルコ・ロシア間でソチ合意締結

10月22日、ロシアを訪問したトルコ代表団と両国大統領は6時間半にわたる会談を行い、会談後の会見で両国外相は、10項目の共同声明を発表した。10月23日12時以降、ロシア憲兵及びシリア国境警備隊は平和の泉作戦地域外に進出し、YPG/PKK構成員と武器をトルコ国境30km外に150時間以内に排除することで合意した。また、期限後は、トルコ・ロシアによる合同パトロールをカミシュリ市を除く幅10kmの地域で実施する。なお、10月30日には憲法委員会の第一回会議が実施される予定となっている。(10月23日付けM紙1面)

●トルコ・米国合意の120時間が経過

10月22日22時にトルコ・米国間で安全地帯からYPG/PKKを撤退させるために与えられた猶予120時間が経過した。エルドアン大統領は、会見にて「合意した内容が完全な意味で実行されたわけではない。」と発言した。なお、エルドアン大統領は11月13日に米国を訪問予定。(10月23日付けM紙インターネット版)

●米国が対トルコの全ての対抗措置を解除

10月23日、トランプ米大統領がトルコに対する全ての対抗措置を解除する命令を出したと発表し、続いて米財務省からも同様の発表がなされた。トランプ大統領が10月14日に署名した決定で、トルコ防衛省、エネルギー天然資源省、アカル防衛大臣、ソイル内務大臣、ドンメズ・エネルギー天然資源大臣を対象とする制裁が確定していた。(10月24日付けC紙7面)

●欧州議会がトルコのシリア軍事作戦に対する非難決議

10月24日、欧州議会総会にてトルコのシリアにおける越境軍事作戦を非難する決議が採択された。「国際法違反であり、地域の安定と安全を損ない、市民を追放する原因となり、ISILを再び誕生させることに加担する」と意見表明を行い、トルコに対し迅速な作戦終了を呼びかけ、またEU諸国へ報復決定を取るよう要求した。本決定に対しAKP、CHP、MHP及び優良党が遺憾の意を表明した。(10月25日付けC紙9面)

●エルドアン大統領「掃討できないのであれば我々がやる」

10月26日、エルドアン大統領はロシアとの合意について、「大国の首脳がテロリストのトップと机を前に座って話し、トルコにも仲裁者になれと要求する。我々はテロリストの首長と同じ机には座らず、また彼らを仲裁者であるとも認めない。…米国

は120時間で掃討するというが掃討できなかった場合も地域は我々に残され、この仕事は我々が行うことになる。掃討したと文書を送ってきたが、実際は掃討できていない。現在他の地域ではロシアが同じことをやっている。150時間の経過後、同地域でも我々の管理下で掃討を行うことになる。」と発言した。(10月27日付けM紙14面)

●IS指導者バグダディ氏が死亡

10月27日、トランプ米大統領がIS指導者バグダディ氏の死亡を発表したことについて、トルコ国防省は、米国によるイドリブ攻撃作戦を前に、トルコ・米国の軍当局間で情報交換と調整があったと発表した。またチャヴシュオール外相もトルコと米国の協力のもとで本作戦が行われ、トランプ大統領から感謝の言葉があったと述べた。(10月29日付けM紙17面)

●エルドアン大統領「トルコ以外の国の関心は石油」

10月29日、エルドアン大統領は共和国記念日祝典にて「トルコ以外のシリア情勢に関わる他国の目的は石油であるとわかった。一滴の石油を一滴の血より重要と見ていることが露呈した。」と発言した。(10月30日付けM紙1面)

●ロシア：安全地帯のテロリスト撤退完了

10月29日、エルドアン大統領は共和国記念日祝典にて、「ロシアから、安全地帯のテロリストの撤退が完了したとの情報を得た。」と発表した。(10月29日付けM紙インターネット版)



(写真は、10月29日付けM紙インターネット版から)

●米下院、アルメニア人「虐殺」及び対トルコ制裁決議を可決

10月29日、米下院が1915年の事件をアルメニア人虐殺と見なす決議案及びエルドアン大統領とその一家の資産調査等を含む対トルコ制裁案を可決した。制裁法案の成立には上院の可決後、大統領の署名を得る必要があるが、上院で3分の2以上の賛成票が得られた場合には署名の必要はない。11月13日に予定されているエルドアン大統領の米国訪問を前にして、トルコ共和国建国記念日である29日に同決議が可決されたことでトルコでは物議を醸している。エルドアン大統領は「上層部により止められてきた動きが、米国内のトルコに反対する世論を利用して法案を通過させたにすぎず、この決定を我々は認めない。」「FETOが長年広めてきた主張にもとづいたもので、根拠のない法案であり、厳しく非難する。」と発言した。なお、11月13日の渡米についてエルドアン大統領はクエスチョンマークがついた状態だと記者に回答した。(10月31日付けC紙7面及びM紙14面)

経済

【マクロ経済】

●中央銀行、政策金利を14%に引き下げ

10月24日、トルコ中央銀行の金融政策委員会は、1週間物レポ金利をこれまでの16.5%から250bp引き下げ、14%としたことを発表。市場の100bpの引き下げという予想を大幅に上回った。同行はインフレ予測の改善と落ち着いた内需状況がデ

スインフレーションを促進していることを引き下げの背景として挙げた。7月26日以降、3か月で合計10%ポイントの引き下げを行ったことになる。(10月25日付けH紙6面)

●2018年、トルコの財政はマーストリヒト基準を達成

10月23日、トルコ統計庁(TUIK)は、2018年のトルコの財政はユーロ圏への参加要件である「マーストリヒト条約」の財政的基準を達成したと発表。マーストリヒト基準では財政赤字が対GDP比3%、債務残高が対GDP比で60%を超えないこととされており、昨年はそれぞれ2.8%及び30.4%だった。(10月24日付けHDN紙インターネット版)

●2019年9月時点の不良債権、1,320億トルコリラに

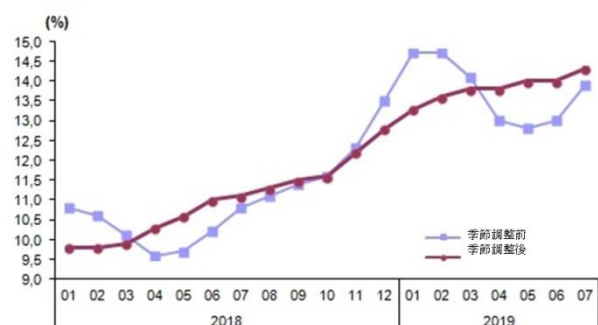
銀行規制監督庁(BDDK)によると、9月末時点のトルコの銀行部門の資産総額は2018年末から10.5%増加し4兆2,727億トルコリラに達した。そのうち、預金は同16%増の2兆3,619億トルコリラ、純資産は同10.4%増の4,665億トルコリラとなった。一方、不良債権は前年9月時点の860億トルコリラから今年9月の間に54%増加し1,325億トルコリラとなり、不良債権比率は3.22%から4.96%に上昇している。(10月31日付けC紙11面)

【経済指標】

●7月の失業率、13.9%に上昇

10月15日付けのトルコ統計庁(TUIK)の発表によると、7月の失業率は対前年同月から3.1%ポイント上昇し13.9%となった。非農業部門の失業率は同3.6%ポイント上昇の16.5%、15歳から24歳の若年層失業率は同7.2%ポイント上昇し27.1%。社会保障を受けないで働く人々の割合は同1.7%ポイント上昇の36%だった。(10月15日付けTUIK)

失業率の推移(2018年1月～2019年7月)



(グラフは TUIK から)

●10月の消費者信頼感指数、57ポイント

10月23日、トルコ統計庁(TUIK)は、10月の消費者信頼感指数は前月の55.8から2.1%改善し、57ポイントとなったと発表。下位指標を見ると、家計状況予測指数は同1.1%増の74.8ポイント、一般経済状況期待指数は3.4%増の73.4ポイント、失業者予測指数は2.7%増の56.8ポイント、貯蓄可能性指数は同0.2%増の22.8ポイントだった。同指数は100以上で楽観的見通し、100未満で悲観的見通しを示す。(10月23日付けHDN紙インターネット版)

●10月の製造業設備稼働率、76.4%

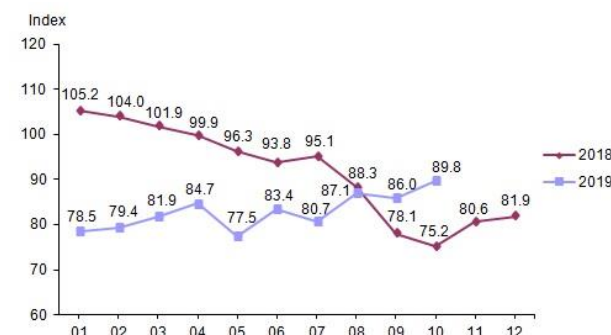
10月25日、トルコ中央銀行は、10月の製造業における設備稼働率(CUR)が前月から0.1%上昇し76.4%だったと発表。20以上の産業部門の中で、CURが最も高かったのはアパレル業と製紙産業の84.5%で、最も低かったのは皮革加工業の62.4%だった。同指標は国内の1,795社に対する調査に基づき発表されている。(10月25日付けHDN紙インターネット版)

●10月の経済信頼感指数、89.8ポイント

10月30日、トルコ統計庁(TUIK)は、10月の経済信頼感指数を

発表。前月の86から4.5%改善し89.8ポイントとなった。消費者、製造業、サービス業、小売り・貿易業及び建設業の各下位指標のいずれも前月から上昇し、特に製造業と小売り・貿易業では楽観的見通しを示す100を上回る104.2及び102.3をそれぞれ示した。(10月30日付けTUIKほか)

経済信頼感指数の推移(2018・2019年)



(グラフは TUIK から)

【金融】

●ハカン・アティツラ氏、イスタンブール証券取引所のGMに任命

(1) 10月21日、イスタンブール証券取引所(ボルサ・イスタンブール:BIST)が、同日に行った理事会でGMにメフメト・ハカン・アティツラ氏が任命された。アティツラ氏は2017年に対イラン制裁違反の罪状により米国で収監され、服役後本年7月にトルコに帰国。(10月21日付けHT紙インターネット版)

(2) BISTの株式を10%所有する欧州復興開発銀行(EBRD)が、同人事の発表後、所有する株式を近日中に売却することを決定したことが関係者筋から明らかになった。EBRDは2015年に10%の株式を取得して以来、トルコ・ウェルス・ファンドに続き、BISTの第2の株主。(10月31日付けC紙11面)

●Turk Telekom とギャランティ銀行、サイバー攻撃の標的に

10月27日、トルコのTurk Telekom社とギャランティ銀行が、サイバー攻撃を受けていたことが明らかになった。Turk Telekom社のセキュリティ・チームは即座に対応し撃退したとした一方、ギャランティ銀行は、デジタルサービスに対するDDoS攻撃(当館注:複数のコンピューターから標的のサーバーに大量の処理要求を送ることでサービスを停止させてしまう攻撃。)がなされたとし、同日時点で、国内からのサービスへのアクセスはおおむね回復したものの、外国からのサービスへのアクセスは復旧していなかったことを明らかにした。(10月28日付けHDN紙インターネット版)

【経済政策】

●AKP、新税制パッケージで「デジタルサービス税」の導入を検討

AKPが準備中の新税制パッケージについて、高所得者の所得税の35%から45%への引上げ、500万トルコリラ以上の評価額の住宅に対する豪邸税の導入(0.3~1%)、審判とスポーツ選手の所得税の15%から20%への引上げ等が検討されていることが分かった。また、インターネット上のゲーム、音楽及び動画のダウンロード販売による収益に対し、7.5%が企業に課税される「デジタルサービス税」の導入が検討されていることが分かった。同税はグーグル、Facebook、アップル、アマゾンなど、米国企業も対象となることから、米国への制裁となる可能性があると言われている。(10月22日付けSOZCU紙インターネット版)

【不動産】

●9月の住宅販売数、対前年同月比 15.4%増

(1) 10月16日、TUIKは、9月の住宅販売数が対前年同月比15.4%増の146,903件であったと発表。また、住宅ローン利用による住宅購入数は同410.2%増の57,811件となった。一方、外国人による購入数は同25.6%減の4,177件に留まった。(10月16日付け TUIK)

(2) 銀行規制監督庁(BDDK)の発表によると、国内金融機関による住宅ローン総額は7月末時点の1,787億トルコリラから10月11日の時点で6.3%増の1,890億トルコリラに上昇した。7月及び8月に政策金利が計750ベーシスポイント引き下げられて以降、国内金融機関は住宅ローンの金利の引き下げを実施。これにより、住宅ローン及び消費者ローンの金利は8月からは500bp、年初からは750bp下がっている。(10月20日付け HDN 紙インターネット版)

【観光】

●2019年第3四半期の観光収入、対前年同期比 22%増

10月31日、トルコ統計庁(TUIK)は、2019年第3四半期の対外観光収入は対前年同期比22%増の141.2億米ドルに達したと発表。そのうち、82.1%は外国人観光客から、17.9%は在外トルコ人によるとした。また同期間の外国人観光客の平均支出額は一人当たり623米ドル、在外トルコ人は789米ドル。訪問者数は同15%増の2,161万人で、85.3%の1,843万人が外国人、14.7%の317万人が在外トルコ人だった。一方、国内から外国を訪れたトルコ人数は同30.2%増の294.9万人で、平均支出額は一人当たり417米ドルだった。(10月31日付け TUIK)

治安

●トルコ軍内における FETO メンバーの判別ルールが解明

10月21日、イスタンブールの検察官の調査によって、トルコ軍内部におけるFETOメンバー同士の認識方法に隊員番号が利用されていたと発表した。そのルールでは入隊時にFETOへの忠誠を示した人物にだけ一定の規則に基づいた個人番号を付与し、昇進などに便宜を図っていた。この解明により20名の軍関係者を逮捕し、容疑者2名はFETOとの関係を認めている。(10月21日付け S 紙インターネット版)



(写真は10月21日付け S 紙インターネット版から)

●イズミル県で歴史文化財の密輸品押収

10月23日、警察はトルコ西部のイズミル県において密輸対策捜査中に歴史文化財約500点を押収したと発表した。警察は違法販売の情報を元に捜査した結果、容疑者の逮捕と併せて旧時代のコインや青銅器などを押収している。(10月23日付け S 紙インターネット版)



(写真は10月23日付け S 紙インターネット版から)

●PKK 対策捜査でマリファナなど 4,500 キロ以上を押収

10月24日、トルコ警察は南東部において PKK に対する捜査中に4,500キロ以上のマリファナと大量の大麻株を押収したと発表した。捜査はディヤルバクル県などで行われ2名の容疑者が逮捕されている。(10月24日付け S 紙インターネット版)

●エディルネ県のギリシャ国境で違法薬物押収

10月28日、トルコ警察はエディルネ県において薬物密輸に対する捜査が行われ、ギリシャ国境の河川のボートから14キロの麻薬を押収したと発表した。この捜査で容疑者1名が逮捕されている。(10月28日付け S 紙インターネット版)



(写真は10月28日付け S 紙インターネット版から)

●全国で40名以上の ISIL 関係容疑者が逮捕

10月29日、トルコ警察は国内において40名以上の ISIL 関係容疑者が逮捕されていると発表した。この捜査により、メルスィン県において逮捕された5名の容疑者は ISIL リーダーバグダディ氏殺害に対する復讐としてテロ計画を進めていたことが判明している。(10月29日付け HDN 紙インターネット版)

●共和国記念日を狙いイスタンブールでテロ計画

10月29日、トルコ警察はイスタンブールにおいて共和国記念日を狙ってテロを計画していた ISIL メンバー3名を逮捕したと発表した。容疑者の供述では ISIL のリーダーであるバグダディ氏が殺害されたことへの復讐としてテロを計画していた。また、この関連捜査でブルサ県においても ISIL 関係容疑者26名が逮捕されている。(10月29日付け S 紙インターネット版)

●トルコ北西部で1.5トン以上の違法ガソリン押収

10月31日、トルコ警察はイスタンブール県とテキルダー県において捜査を行い、市場価格約1,000万ユーロの合計1.5トン以上の違法に精製された燃料を押収したと発表した。警察は4ヶ月前から、不良ガソリンによる車両の故障件数の増加を調査していた。今回の捜査で精製会社の社員など12名が逮捕されている。(10月31日付け S 紙インターネット版)

社会

●イスタンブールへの観光客数が過去5年で最高を記録

2018年に世界で8番目に訪問された都市であったイスタンブールは、今年8月現在200か国から990万人の外国人観光客を受け入れ、過去5年間で最高の数字を記録した。また、史上初めてイスタンブールの観光客は、市内の居住者数を上回ると予想されている。市は2019年末までに1,550万人の観光

客を受け入れる予定。(10月20日付け Daily Sabah 紙インターネット版)

●世界体操選手権でトルコ人選手が金メダルを獲得

10月4日から13日までドイツのシュトゥットガルトで開催された世界体操選手権の男子つり輪でイブラヒマ・チョラク選手が金メダルを獲得した。また、男子平行棒では、アフメット・オンデル選手が銀メダルを獲得した。(10月21日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、10月21日付け HDN 紙インターネット版から)

●オスマン時代の画家の絵画が 160 万ドルにて落札

23日、19世紀の画家オスマン・ハムディベイによる絵画「イスタンブールの淑女」が、オーストラリアのオークションにて160万ドルにて落札された。オークションは、ウィーンにあるドロテウム・アートギャラリーにて開催され、電話にてオークションに参加した匿名の人物により落札された。アートギャラリーの広報担当者によると、同作品は今年度のオークションで最も高額の商品であったという。作品のモデルになった人物は明らかではないが、オスマン・ハムディベイは作品に自分の家族を描くことが多かったという。同氏の作品は水曜にもロンドンにて「コーランの講義」が、先月には「コーランを詠む少女」がやはりロンドンにて落札されている。(10月24日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、10月24日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコ南部メルシンにて古代数学者アラトスの墓が発掘される

紀元315年から245年に生存した数学者及び科学者であるアラトスの墓場が、メルシン県メジトリ市にて発掘された。墓地は、3500年前のものと見られる古代ソリ・ポンペイポリスの発掘現場内に存在する。ネシェット・タルハン・メジトリ市長は、発掘に関して支援を呼び掛け、「ソリ・ポンペイポリスは私有地であるため、アラトスの墓地は破壊される危機にある。メジトリは歴史上非常に重要な都市であり、キケロやアレキサンダー大王など重要人物が住んだ都市でもあるが、近年まで茂に覆われ誰もその存在を知らなかった。この都市の歴史的な豊かさや文化遺産を明らかにするには国や文化・観光省の支援が必要である。」と述べた。(10月21日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、10月21日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコ水域の魚の44%が、マイクロプラスチックにて汚染

地中海グリーンピースの報告によると、専門家が「トルコ水域の海水生物におけるマイクロプラスチック」と題する報告書にて魚243匹、エビ32匹、貝317個を調査した結果、トルコ水域の魚の44%、エビの18%、貝の91%にマイクロプラスチックが入っていることが分かった。報告書では、これらの汚染はプラスチックの過度な生産と消費、不適切な廃棄処理によるものであり、EUにおける規制の見直しと強化が必要であることを主張している。地中海グリーンピースは、1995年にグリーンピースの支部として設立され、トルコ、イスラエル、レバノン、ヨルダン、エジプトにて環境保護を推進する非営利団体である。(10月25日付け HDN 紙インターネット版)

●世界で唯一の「渡り熊」が帰郷

トルコ東部カルス県の東部サルカムシュに生息する世界で唯一の「渡り熊」が、冬眠のためにサルカムシュの森に戻った。渡り熊は、毎年夏になるとグルジア国境のアルトヴィン県まで食べ物を求めて250kmの渡りをする。渡りをする熊が生息するのは世界でサルカムシュのみで、チャーン・シェケルジオウル北部自然協会会長は、「農業・森林省の許可を得て、衛星送信機にて熊の生態を観察している。これまでに53頭の熊が確認されており、うち41頭に衛星送信機が装着されている。ただ、近年では、渡りをせずにサルカムシュのゴミを漁って栄養補給をする熊も出てきており、このような熊は冬眠中にも起きてゴミを漁ることになり、熊の冬眠と渡りの生態にも変化が起きている。」と述べた。(10月25日付け HDN 紙インターネット版)

●サバサンド屋台に立ち退き命令

イスタンブール市は、観光客に人気のあるエミノニュ地区で魚のサンドイッチを販売するボート3隻に対して立ち退き命令を下した。2007年以来、トルコで「balık-ekmek」と呼ばれる魚のサンドイッチを販売する3隻のボートでは約150人が雇用されており、ボートの所有者は、市に賃貸料として年間合計900,000トルコリラ(157,000ドル)を支払っていた。

(10月29日付け HDN 紙インターネット版ほか)



(写真は、10月29日付け HDN 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応庁	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.10.31 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	1件	14件	0件	1件	1件	9件	1件	5件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- [第41回イスタンブール・マラソン開催に伴う交通規制について](#) (11/1)
- [休館日のご案内\(11月4日\(月\)\)](#) (11/1)
- [【イスタンブール補習授業校】準備クラスオープンクラスのお知らせ](#) (11/1)
- [在外選挙制度アンケートの実施](#) (10/31)